

# 第1回北部地区街づくり協議会

日時：平成28年6月30日（木）午後2時  
場所：天理市役所 4階 特別会議室

## 次 第

1. 開 会
2. 市長あいさつ
3. 委嘱状の交付
4. 北部地区街づくり協議会の設置要綱について
5. 協議会の公開について
6. 協議事項
  - (1) 協議会の体制とスケジュールについて
  - (2) 今までの北部地区の取り組みについて
  - (3) 北部地区の魅力と課題の整理
  - (4) 新櫟本公民館について
7. 次回の日程
8. 閉 会

---

### 【添付資料】

- P1 委員名簿
- P2-3 協議会設置要綱
- P4 協議会の公開について
- P5 天理市×周辺市町村にぎわい循環 MAP
- P6 北部地区街づくり協議会 体制
- P7 北部地区街づくり協議会 スケジュール概要
- P8 北部地区におけるまちづくりについて(活性化対象範囲図)
- P9 北部地区の魅力・課題・取り組み

参考資料 新櫟本公民館パース、平面図  
新聞記事【はにわ祭り】

平成28年6月30日

北部地区 街づくり協議会 委員名簿

順不同・敬称略

	所属	氏名	役職(肩書)
1	天理市区長連合会	尾関 正春	櫛本校区区長会 会長 (四之坪住宅市営自治会区長)
2	天理市区長連合会	森西 功	櫛本校区区長会 副会長 (櫛本町瓦釜区長)
3	天理市区長連合会	雪元 政春	櫛本校区区長会 天理団地第3自治会区長
4	天理市商工会	福西 光弘	櫛本商工連盟 会長
5	天理市商工会	大森 良幸	櫛本商工連盟
6	天理市商工会	近藤 眞規	櫛本商工連盟
7	天理市商工会	藤山 和徳	蔵之庄商工連盟 会長
8	天理市商工会	米杉 伸喜	蔵之庄商工連盟
9	天理市商工会	森田 祐司	蔵之庄商工連盟
10	天理市議会	飯田 和男	櫛本校区選出議員
11	農業関係者	山口 芳嗣	奈良県農業協同組合 櫛本支店 支店長
12	農業関係者	古川 清和	和爾営農組合 組合長
13	教育関係者	落合 浩一郎	櫛本小学校PTA 顧問
14	教育関係者	名倉 幸子	天理市教育委員
15	奈良県	中西 秀人	ならの観光力向上課長
16	天理市	並河 健	天理市長
17	天理市	山中 由一	市長公室長

北部地区 街づくり協議会 専門家委員名簿

敬称略

18	近畿大学	寺川 政司	建築学部 准教授
----	------	-------	----------

## 北部地区街づくり協議会設置要綱

### (目的及び設置)

第1条 奈良から桜井・明日香へと続く北から南への周遊の入口であり、名阪国道・西名阪自動車道による東西の交通の要衝でもある北部地区において、「地域資源<sup>かける</sup>×ヒト<sup>かける</sup>×居場所 つなげる循環まちづくり」の実践を目指し、住民、関係機関、専門家委員及び市の職員が活性化を協議・検討するための機関として、北部地区街づくり協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

### (所掌事務)

第2条 協議会は次の事項を所掌する。

- (1) 北部地区の活性化の方向性に関すること。
- (2) 北部地区の既存の施設及び魅力の活用に関すること。
- (3) 北部地区におけるイベント、PR等の検討に関すること。
- (4) その他前条の目的を達成するために必要な事項に関すること。

### (組織)

第3条 協議会の委員は、次に掲げる者により構成する。

- (1) 関係団体を代表する者
- (2) 関係行政機関の職員
- (3) 天理市議会議員
- (4) 天理市長
- (5) 市長が必要と認めた者

2 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

### (会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置く。

- 2 会長は天理市長とし、副会長は会長が指名した者とする。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を統括する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 会長は、必要に応じて関係者を出席させることができる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、市長公室総合政策課において処理する。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は会長が定める。

附 則

この要綱は、平成28年6月30日から施行する。

# 協議会の公開について

## 1. 公開・非公開について

公開とします。

## 2. 一般市民の傍聴について

ホームページで告知のうえ、当日受け付けます。

## 3. 報道機関の取材について

(1) 必要に応じて事前に報道資料を記者クラブに提出し、取材と報道を促します。

(2) 協議会は開会から閉会まで傍聴可能とします。但し、カメラ撮影は原則冒頭部分のみとします。

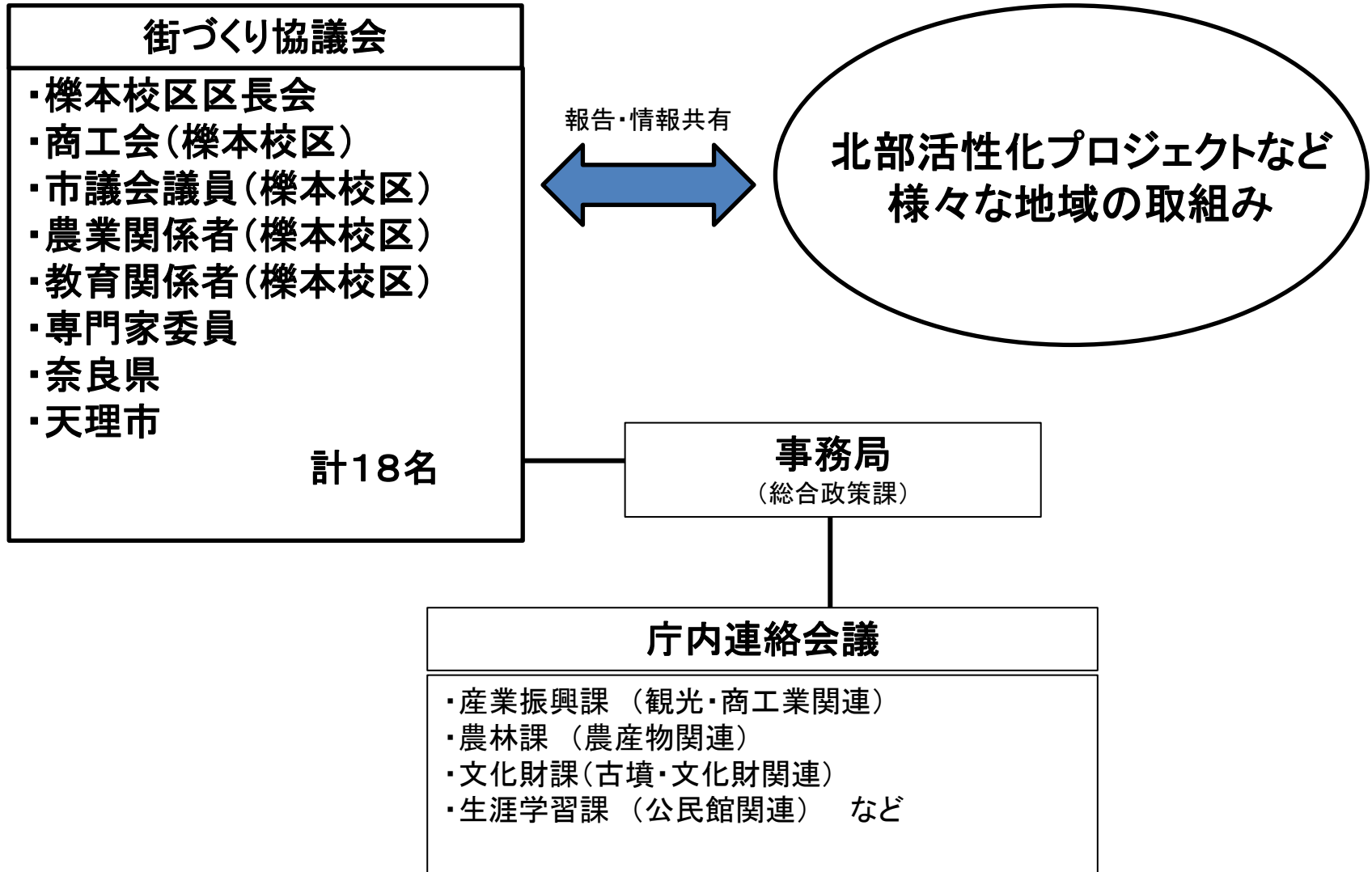
## 4. ホームページの議事録公開について

(1) 公開

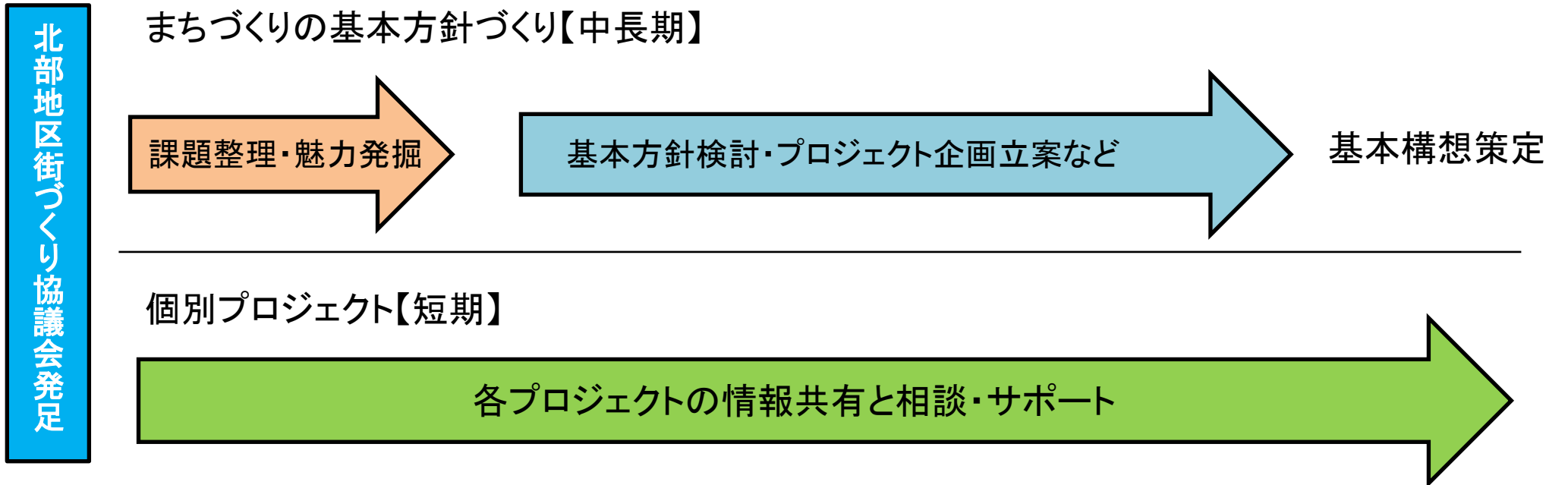
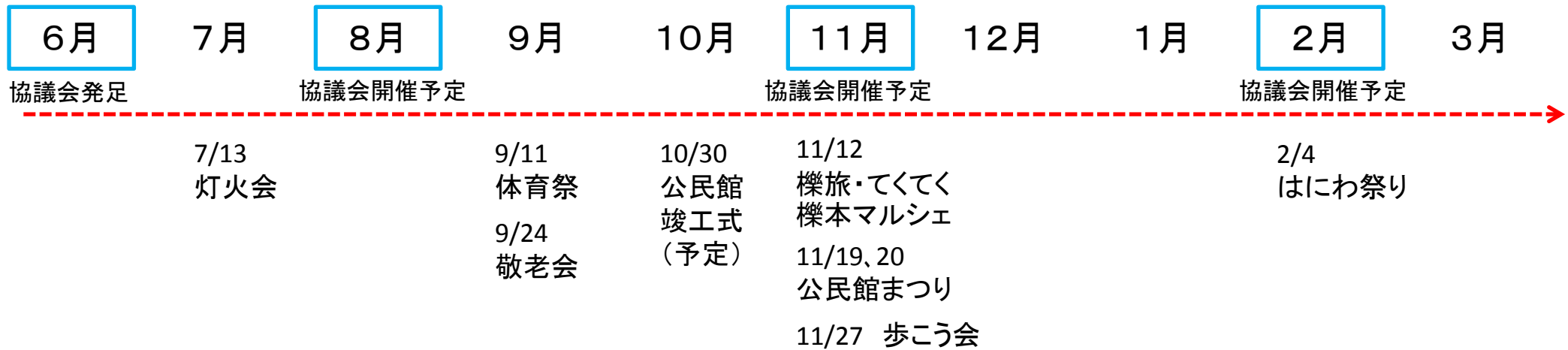
後日、正式版の内容確認をいただきHPに掲載します。委員名は公表しません。

(予定としては、次回開催通知に同封し、次回協議会にて内容了承を想定しています)

# 北部地区街づくり協議会 体制

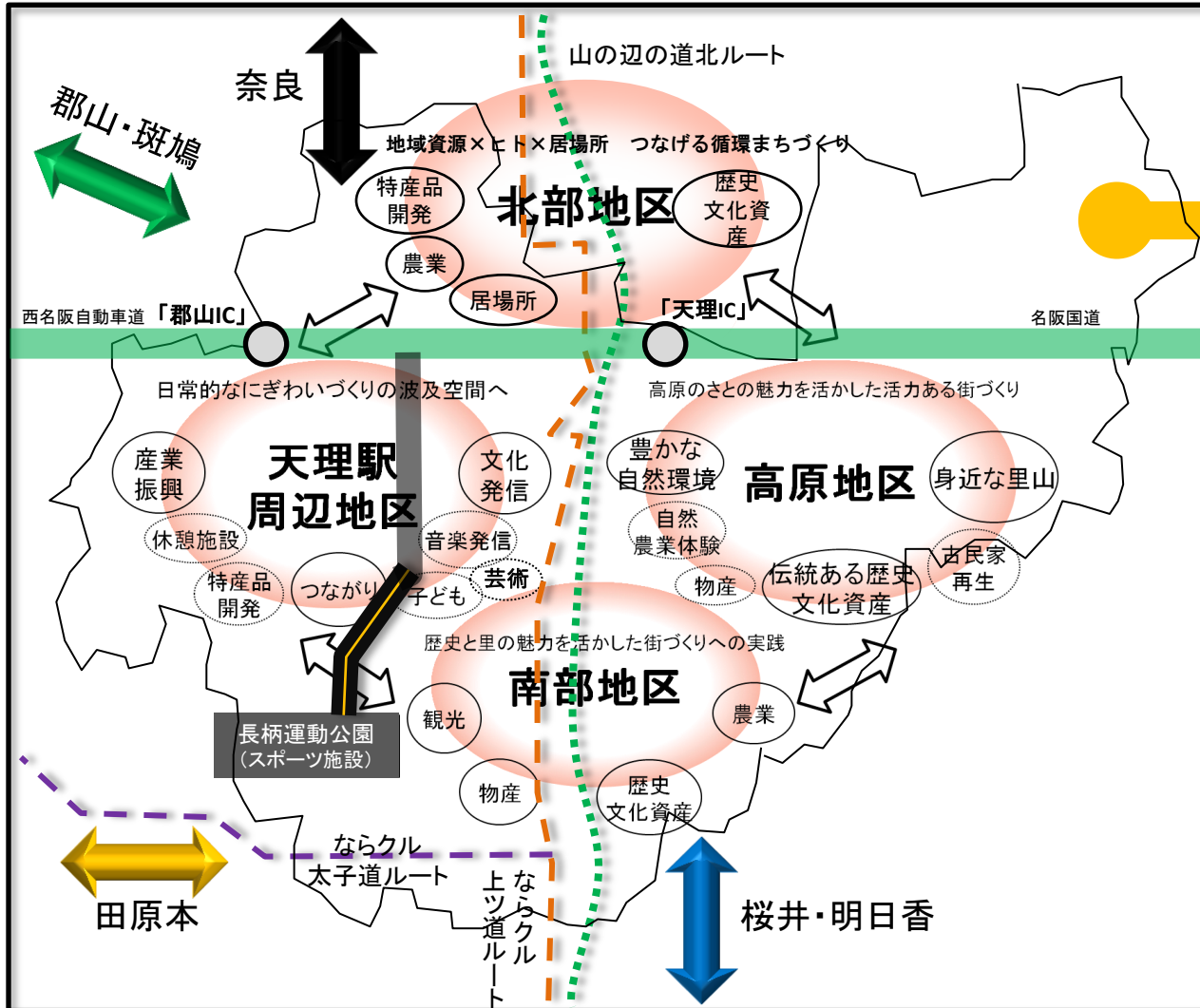


# 平成28年度北部地区街づくり協議会での検討内容とスケジュール概要

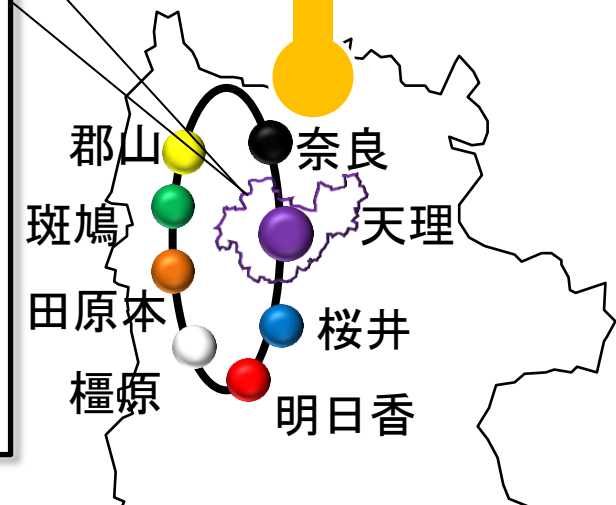


# 天理市×周辺市町村 にぎわい循環 MAP

天理市



奈良県内  
をつなぐ  
にぎわい循環  
の拠点  
となる  
街づくり





基本目標

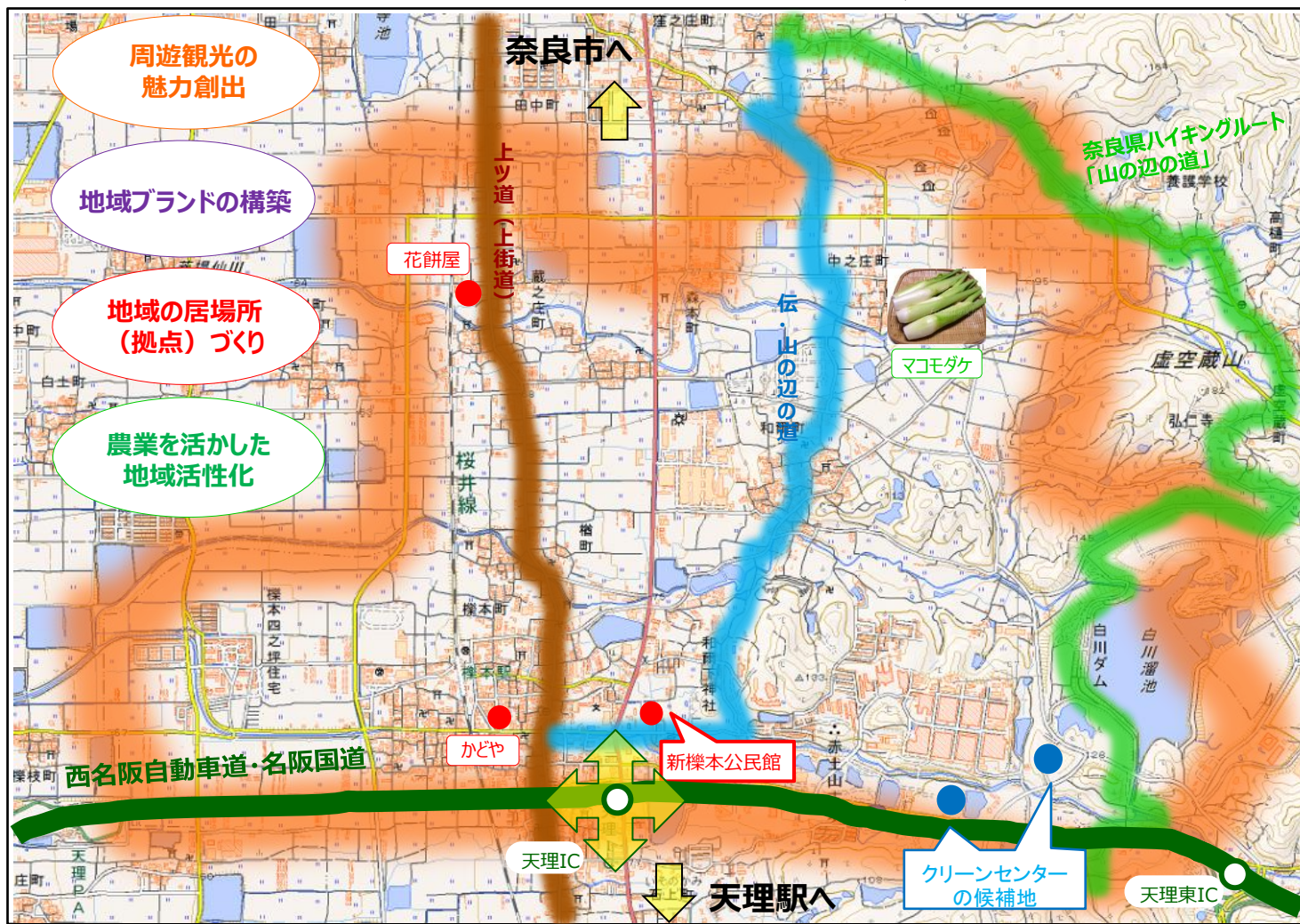
地域住民が主体となり、まちの課題や残したい資源を「見える化」し、居場所づくり活動を通じ、人々が出会い、つながり、持続可能な計画と人材育成による地域の魅力創出と再価値化。

■ 今後の進め方 ■

北部地区がかかえる  
現状・課題の整理

まちづくりの目標に向けた  
具体的な取組の検討

まちづくり  
基本構想策定



# 北部地区の魅力・課題・取り組み

## 魅力 ・ 強み

例えば・・・

・在原神社、檜神社などの神社 ・極楽寺、大興寺などの寺院 ・東大寺山古墳、赤土山古墳などの古墳群 ・伝山の辺の道、上ツ道などの街道、古道 ・新櫛本公民館 ・白川ダム ・シャープミュージアム ・花餅屋、かどやの拠点 ・マコモダケ、イチゴ、ブドウなどの農産物 ・「はにわ祭り」や「灯火会」などのイベント ・櫛旅や櫛本マルシェなどのイベント。など

- ・
- ・
- ・
- ・

## 課題 ・ 弱み

例えば・・・

・空き家が多い ・看板、案内板が分かりにくい ・誘導、説明できる人が少ない ・休憩所、食事処、トイレ、駐車場が少ない ・特産品が目立たない ・遺産の価値が共有できていない ・文化財が多くあるのに認知度が低い ・商店街のシャッターがしまっている ・169号線は通過されるだけで人が来ない。など

- ・
- ・
- ・
- ・

## 既存の 取り組み

例えば・・・

・はにわ祭り ・灯火会 ・櫛旅 ・櫛本マルシェ。など

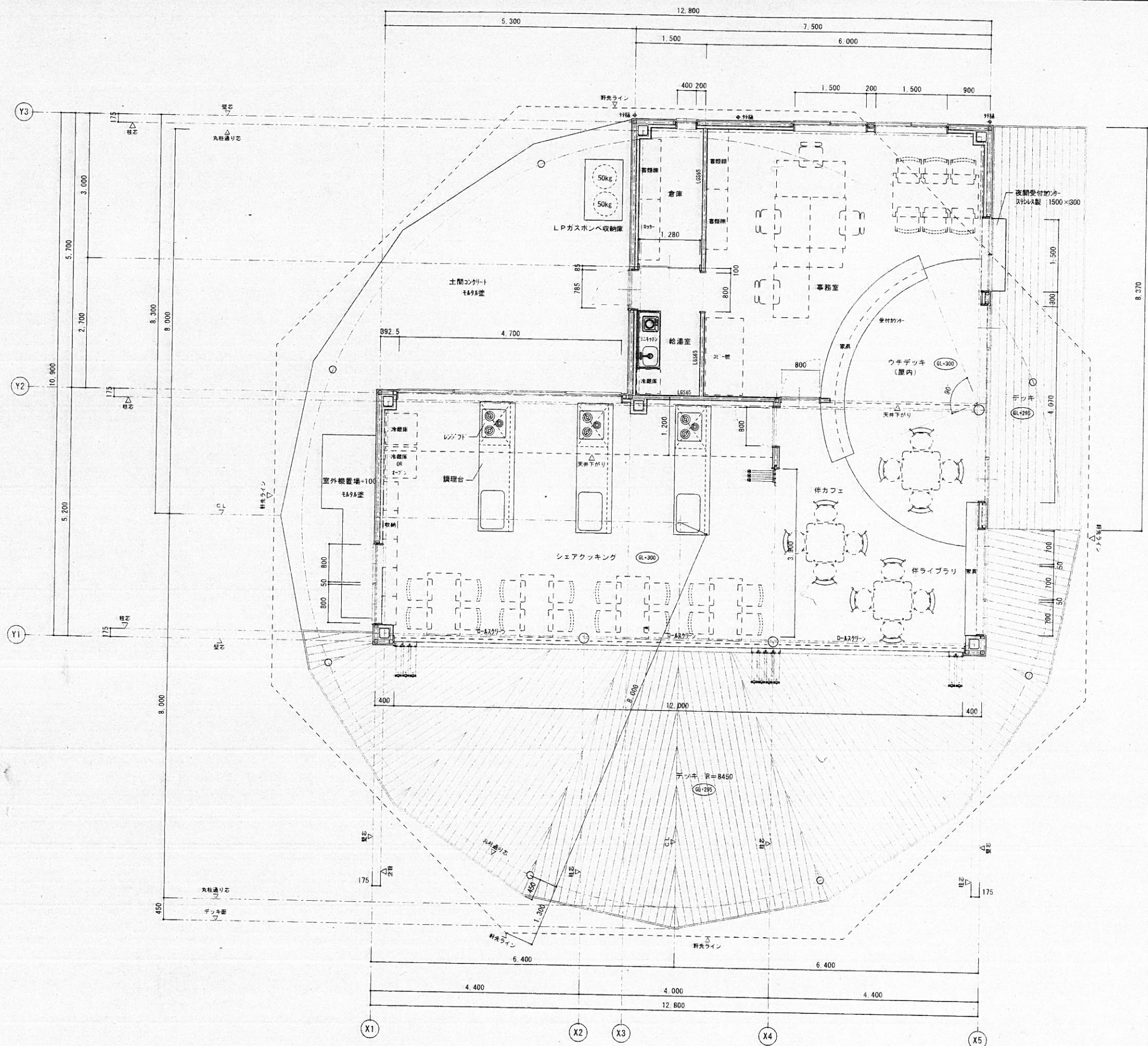
- ・
- ・
- ・
- ・

## 今後の 取り組みの 方向性

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・



(仮) 天理市立新櫟本公民館改修事業



- ※ 調理台仕様  
 天板 ステンレス=1.0及びメラミン化粧合板  
 外装 ポリエステル樹脂合板  
 給水栓 折りたたみ混合水栓  
 加熱機器 ガスコンロ、高速オープン  
 (株)ヤガミ 生徒用調理台YFC-21ASW(M) 同等
- ※ レンジフード仕様  
 ステンレス製 センターフード  
 ヤマゼン 斜イソアイラント MST100-I-HL同等
- ※ LPガスボンベ収納庫仕様  
 LPガス容器金属製収納庫の設置基準による  
 (日本LPガス団体協議会)

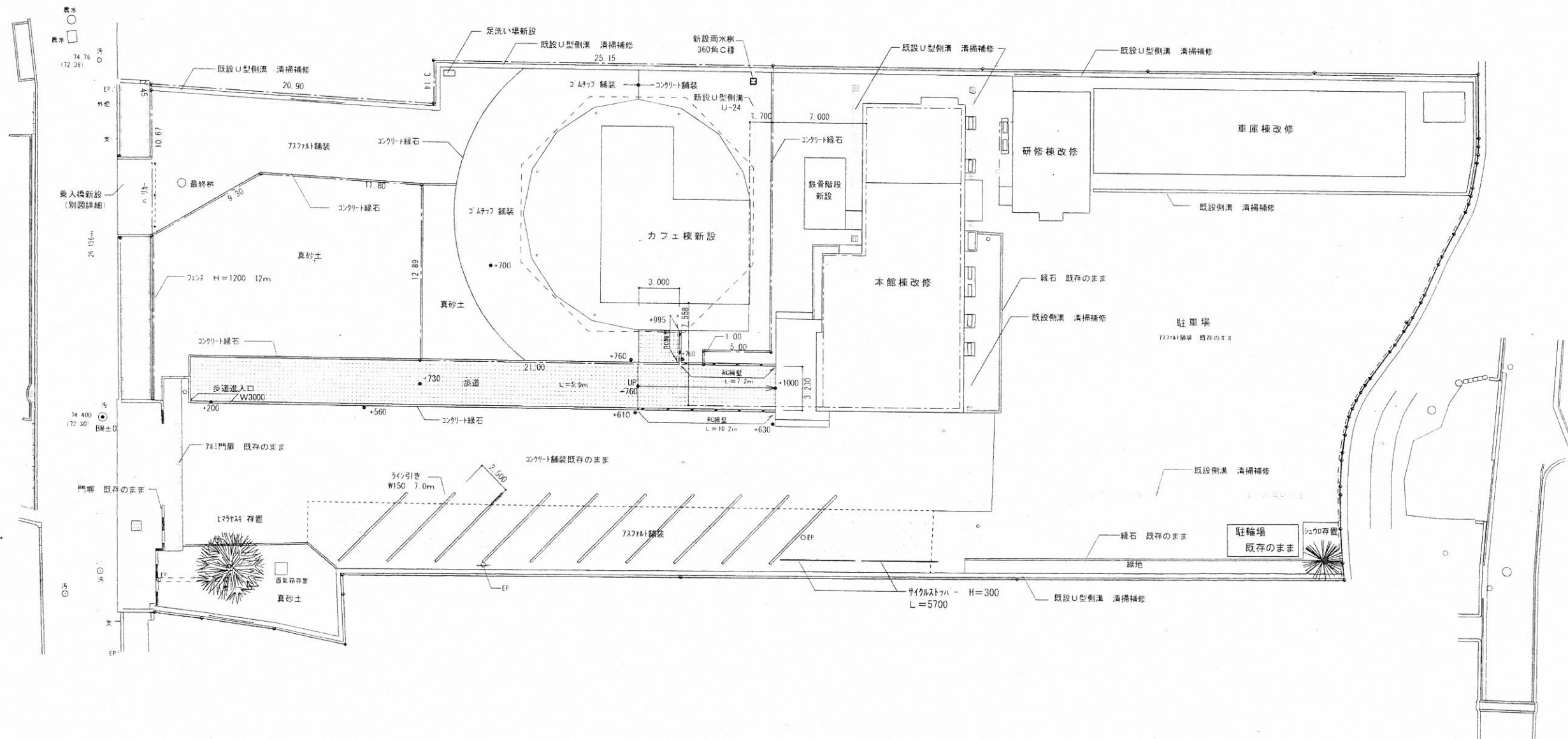
有限会社 優建築工房

一級建築士 登録182297号 相賀正夫  
 〒632-0004 奈良県天理市樺本町2783-41番地  
 TEL・0743-65-2340 FAX・0743-65-2440

(仮) 新天理市立樺本公民館整備工事

SCALE 1/60

カフェ棟 平面詳細図



有限会社 優建築工房

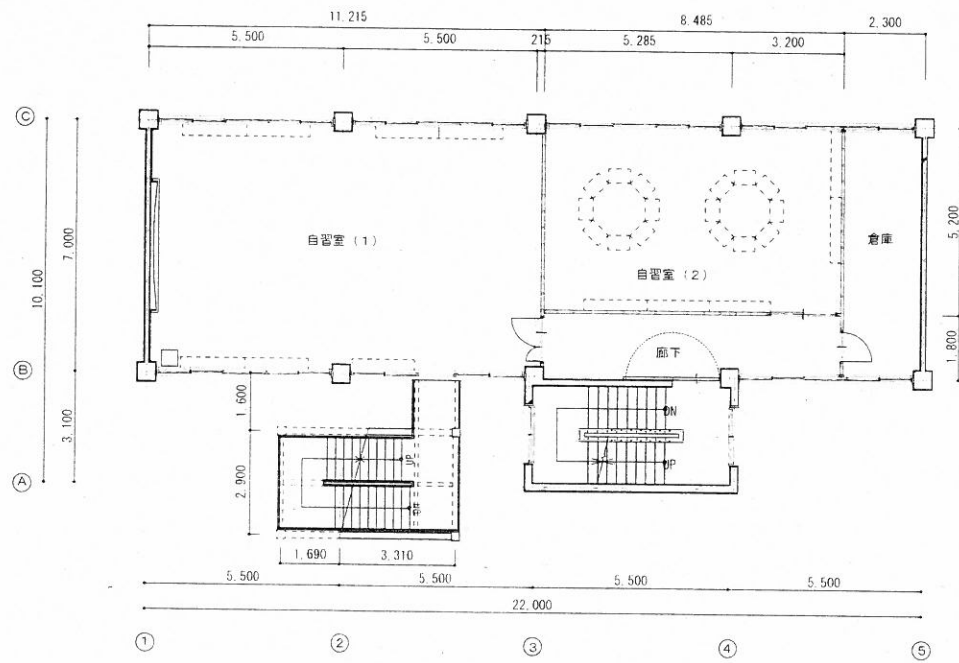
一級建築士 登録18229号 相賀正夫  
 〒632-0004 奈良県天理市樺本町2785-41番地  
 TEL・0743-65-2340 FAX・0743-65-2440

(仮)新天理市立樺本公民館整備工事

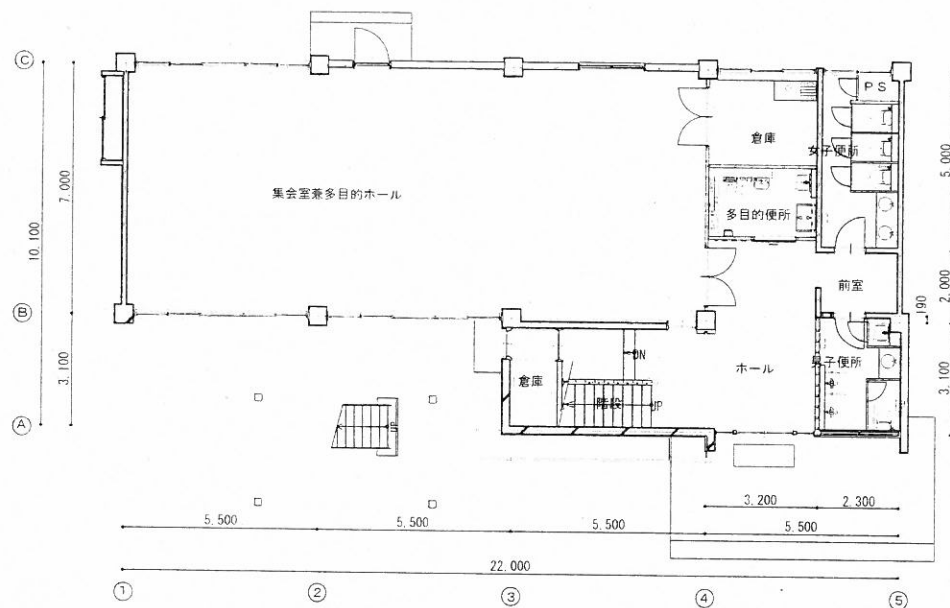
1/250

【改修】外構図

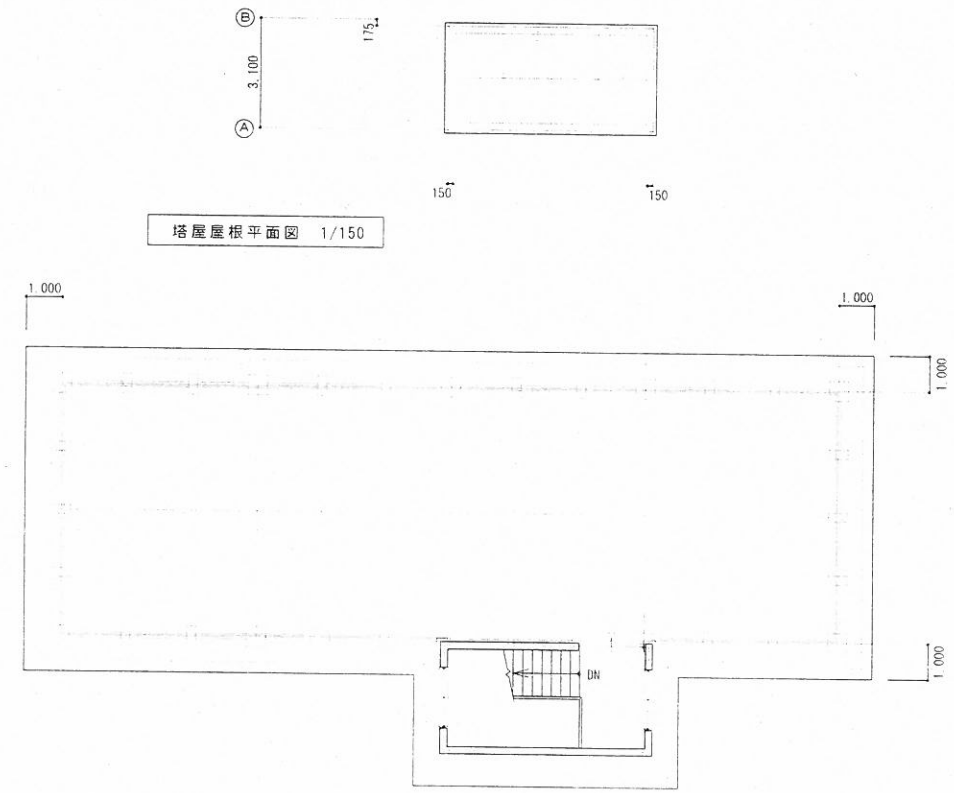
A-67



3階平面図 1/150

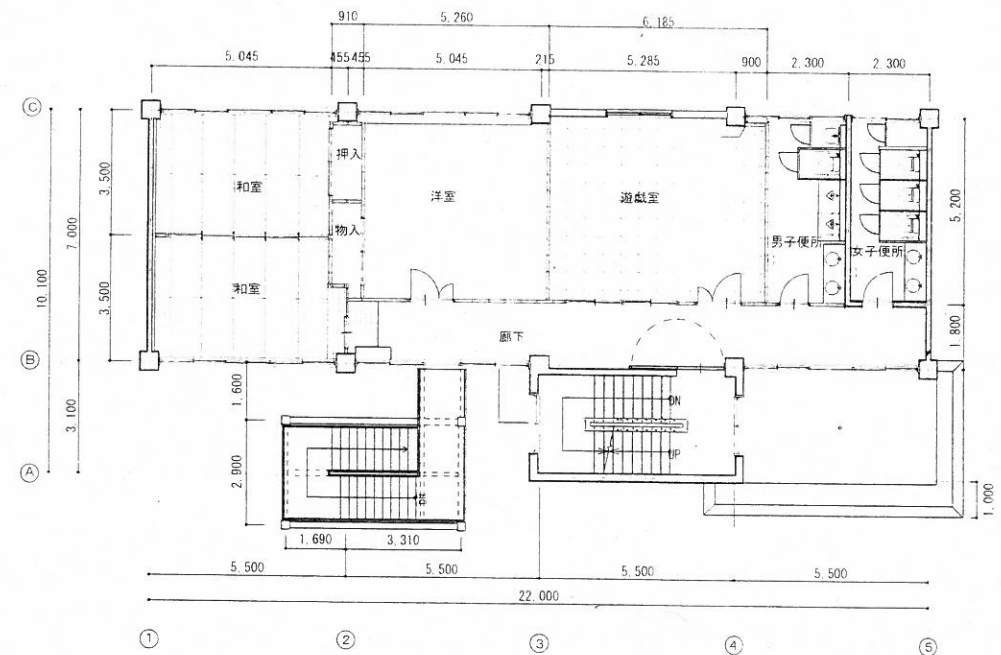


1階平面図 1/150



塔屋屋根平面図 1/150

塔屋平面図 1/150



2階平面図 1/150



校歴60周年が地蔵を焼いた「はにわ祭り」  
天理市標本町

# はにわ祭り郷土知る

標本小学校 市立

## 敷地で大量出土 地域と連携

この学校のキーワードは「はにわ」だ。なにしろ、学校の敷地内で大量の地蔵がみつかった。これを機に2000年に始まり続いている「はにわ祭り」だ。  
2月の第1土曜、校庭に児童、教諭、保護者、老人会、地元企業の人たちが集う。5年生が粘土で作った地蔵を焼いたり、地元の神社や旧跡を巡ったり。子どもたちは郷土の歴史をかみしめ、大人は見守り、支える。こうした地域に根ざした取り組みが評価され、2年前には教育現場の優れた活動に贈られる「博報賞」を受賞した。  
今年のはにわ祭り。午前9時すぎ、標本区長会長の尾関正壽さん(81)が「歴史深い標本のよきを感じて」とあいさ

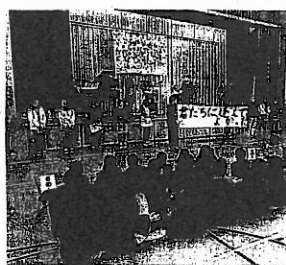
### まなびバ!

教育/2016

1時間半ほど歩いて学校に戻ると、お母さんたちが準備した「はにわ汁」がお出迎え。地蔵を見立てた「はにわ」は、地蔵の余韻を愛でるイベントが夏にある。7月13日夜の「標本灯火会」だ。2004年から、地元にある和爾下神社のお祭りの前夜を彩る。  
はにわ祭りで焼き上げた地蔵を校庭に並べ、中にキャンドルを灯す。「夕暮れ時、ロウソクの灯が風に揺られて、きれいですよ」と伊勢和彦校長(69)もウツリ。  
校舎の屋上を一般開放し、上からの眺めを楽しむ趣向だ。地蔵を並べる図案は毎年、校内で公募し、選ばれた児童の図案が夜の校庭に浮かび上がる。(佐藤圭也)

## 教員ものびのびバンド誕生

20代の教職員の育成に力を入れている。教員の高本敏浩さん(66)をまとめ役に、次世代育成研修を実施。教員同士、のびのびと話し合える雰囲気大切にしている。



次回(24日)は報徳学園中・高校(兵庫県西宮市)を紹介し。

2月にあった「6年生を送る会」には教職員バンドがサプライズで登場。6年生を初めて受け持った仲井健朗さん(25)が「何かやりたい」ともらした声を、周囲が受け止め、8人組の教職員バンドが誕生した。  
放課後、児童に隠れて練習を重ね、ロックバンド「レミオロメン」の「3月9日」などを演奏。楽器を演奏しない先生も全員、コーラスで加わり、「君たちに送ってよかった」という横断幕を掲げた。

## 夢広がる シャープ 出前授業

標本小の校区にはシャープ総合開発センターがある。敷地内には、創業以来の新製品開発の歴史を展示するシャープミュージアムもある。

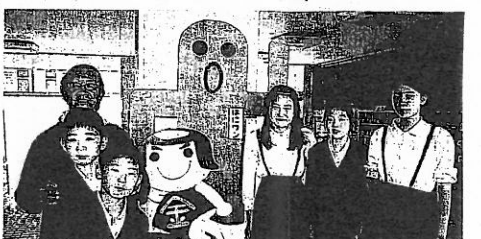


昨年11月、シャープ研究開発本部の職員による出前授業があった。「技術開発だけでなく次世代の育成にも役立ちたい」との申し出があったという。  
テーマは「次世代テレビ」。画面が透明になって向こう側が透けて見えるのを見て、児童は大喜び。「東京スカイツリーの窓ガラスに活用し、景色の説明も映し出せたりしたら、どうか?」「町の中のガラスがテレビになって、最新のニュースが流れたら、いいな」。夢が広がっていた。

## 好評ゆるキャラ「はにワン」

児童にも「よっしゃー」と呼ばれ、親しまれているのが校務員の吉村真之助さん(68)。いつもニコニコ、笑顔で働く人気者だ。元シャープ社員で、天理工場で作るののが大好き。定年後、標本小で働くようになった。  
授業で米作りをする児童から、「はにわをモチーフにしたカカシを作って」

とリクエストされたことがあった。吉村さんが作ると、児童は「はにワン」と命名。「かわいい」と好評で、今では下足箱わきに「はにワン」の看板があったり、校長の名刺に印刷されたり。今や標本小のキャラクターに育っている。



## じいちゃんが見守る図書室

地元の高齢者でつくられた「標本長寿会」の有志らが毎週2回、図書室で児童を見守るボランティア活動に取り組んでいる。  
建て増した校舎の4階にある図書室は、教員の目が届き



字離れは残念。少しでも役に立てたら」と参加する。「ゆくゆくは子どもたちに助けてもらおう時が来るかも。『こんなじいちゃんが地元にいる』と知ってもらおうと、僕らも助かる」と笑っていた。

導重点項目は「あいさつの実行」「学びの経験の向上」  
一外遊び、みんなでチャレンジ  
「一添上高校と連携した体育授業」

### 和爾下神社のもと140年

天理市に9校ある市立小学校の一つ。4月1日現在の児童数は319人。  
創立は1872(明治5)年6月1日。和爾下神社の馬居前の廃寺・寂靜院を学舎として始まったとされる。和爾下神社は、古墳時代前期の前方後円墳が集まる東大寺山古墳群の上にある。  
校章も、和爾下神社の神紋である織田氏ゆかりの瓜の紋がモチーフ。その上に、標の本と文字をデザイン化してあらわした。  
学校名は数回の改称を経ているといい、1954(昭和29)年、6町村が合併して天理市が誕生した際、天理市立標本小学校となった。2012年に創立140周年を迎えた。職員が小グループに分かれて討議して決めた16年度の指